

3Dプリンタを使うための基本的な流れ

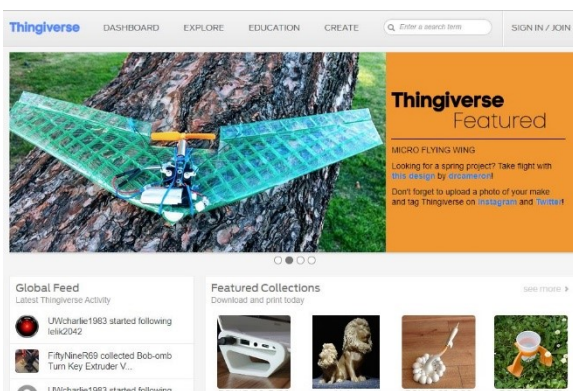
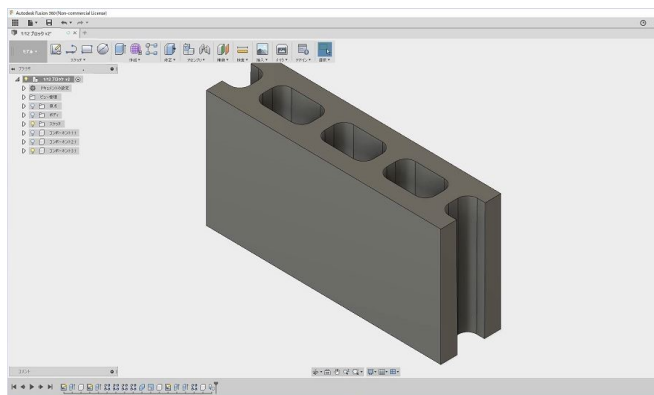
この度はニンジャボット・コペンをお買い上げいただきありがとうございます。コペンを使って3Dプリントを楽しむための大まかな概念をご紹介します。

1. 作りたいものの3Dデータを用意する

3DCADまたはCGなどを使いコンピューター上で作りたいものを3次元データで設計しSTL形式で保存します。

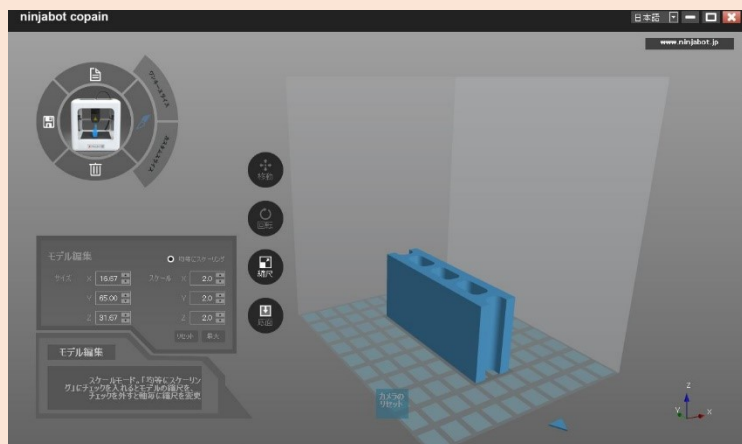
* こちらはお客様自身でご用意いただくものです。コペンには付属していません。

3DCADまたはCGなどでデータが作成できない場合にはインターネット上の3Dプリント用データ共有サイトなどからデータをダウンロードすることも出来ます



2. 3Dデータをコペン用スライサーソフトに取り込みG-codeを作成する

上記のどちらかで用意した3Dデータをコペン用スライサーソフトに取り込みます。取り込んだデータはこの段階では単なる『形状』のため、このモデルをどのような条件で作るのか、例えば、1層の厚みは何ミリにするのか、無垢で作るのか中空で作るのか、何の材料を使い何°Cで溶かすのかなど、このモデルをどのように作るのかという条件を設定し再度3Dプリント用のデータを作成します。これをG-codeと呼びます。



SDカードにG-codeを保存



3. G-codeをコペンに読み込ませ3Dプリントする

G-codeが書き込まれたSDカードをコペンに装填し、プリントボタンを押すと、G-codeに書き込まれた指示通りにコペンが動き出しプリントが行われます。

